

第8回先進的研究開発戦略センター戦略推進会合 議事概要

○開催日時 令和6年9月4日(水)14時00分～16時00分

○場 所 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 213・214会議室

○出席者

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 先進的研究開発戦略センター長 濱口 道成
国立研究開発法人日本医療研究開発機構 先進的研究開発戦略センター プロボスト
藪田 雅之

内閣府健康・医療戦略推進事務局長 中石 斉孝

内閣府健康・医療戦略推進事務局次長 仙波 秀志

内閣府健康・医療戦略推進事務局 ディレクター 中島 宣雅

文部科学省 大臣官房審議官(研究振興局及び高等教育政策連携担当) 松浦 重和

厚生労働省 健康・生活衛生局 感染症対策部長 鷲見 学

経済産業省 商務・サービスグループ 商務・サービス政策統括調整官 江澤 正名

東京大学国際高等研究所新世代感染症センター 特任教授 河岡 義裕

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 先進的研究開発戦略センター 先進的研究開
発事業部長 三宅 隆悟

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 先進的研究開発戦略センター 先進的研究開
発事業部 研究総括役 塩川 智規

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 先進的研究開発戦略センター 先進的研究開
発事業部 戦略企画課 感染症有事検討グループ長 飛梅 実

■議 事

1. 構成員等からの情報共有
2. ワクチン・新規モダリティ研究開発事業の課題選考について
3. その他

■概 要：

- 構成員等から、それぞれの取組や現状などについて説明があった。
- SCARDAから、ワクチン・新規モダリティ研究開発事業の採択課題について報告を行うとともに、「SCARDAにおけるワクチン研究開発の戦略」の改訂案について説明があった。
- 感染症有事において速やかにワクチン開発がなされるよう病原体輸送に関するシミュレーションを行うことの必要性等を確認した。
- 鳥インフルエンザ、エムボックスについて、その流行状況等を踏まえ、関係府省、トップレベル拠点及びSCARDAにおける対応状況等が共有された。その中で感染症の研究分野における人材育成が重要であることについて指摘があった。また、平時から国内外の関係機関と連携体制を構築し、正確な情報を迅速に入手し、対応を図ることの重要性が共有された。

以 上